

1 単元名 球技 （ネット型 バレーボール）

2 単元目標

- バレーボールのゲームを楽しむために必要な基礎的・基本的な技能（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス）を身に付けることができる。（運動の技能）
- 自己の課題や役割を自覚して積極的に授業に参加するとともに、仲間と教え合ったり支え合ったりしようとしている。（運動への関心・意欲・態度）
- ボール操作に関する技術の名称や行い方を理解するとともに、ゲームのルールを理解して取り組むことができる。（運動についての知識・理解）
- 自己やチームの課題を見付け、練習方法を選んだり考えたりすることができる。（運動についての思考・判断）

3 単元について

（1）教材観

バレーボールは、ネットを挟んで向き合ったチーム同士が、決められた回数以内の触球でパスやスパイクを有効に活用し、状況を判断しながら攻防を繰り返す中で、相手コートにボールをいかに落とすかを競い合うスポーツである。また、相手との身体接触がほとんど無いことから安全性が高く、全員にボールが回る機会があり、誰にでも楽しめるスポーツとして男女を問わず幅広い人々に愛好されている。

相手とのボールの奪い合いがないため、チームの作戦が組みやすい。また、自己やチームの課題を見付け、適切な作戦を立てたり練習したりすることで、チームとしての技能が高まり、ゲームを楽しむことができる。このような過程の中で、仲間と協力したり支え合ったりしながら、楽しさや喜びを味わうことができるようにする。さらにゲームを楽しむために、基礎的・基本的な技能の習得も図っていく。

（2）生徒の実態

本学級は*名（男子*名、女子*名）である。生徒は、運動・スポーツに対する興味・関心が高い生徒と低い生徒が二極化している。

前者の中には、部活動で県大会に出場し、中心選手として活躍している生徒も複数いる。しかし、体育の授業に関しては、興味・関心が高いとはいえない。また、全体でも仲間と関わり合いながら取り組む姿勢があまり見られないため、学び合いの場の工夫が必要であると考える。

昨年度は、体育館の建て替え工事のため、生徒の運動量の確保が難しかった。また、小学校の体育授業でもバレーボールに関連した運動に取り組んだことがない。これらの実態から、学習の場を工夫し、仲間と協力し支え合いながら、運動の楽しさや喜びを味わい、技能の習得を目指していく。

（3）指導観

バレーボールは、身体接触がほとんど無いスポーツであることから一定の安全性を保つことができる。授業では、小学校時や昨年度の授業で既習していないことを考慮しながら、指導していきたい。

生徒の実態から、男女でスポーツに取り組む楽しさを味わうことを通して、関わり合う機会をつくり、声のかけ方や仲間を大切にすることなどを学習できるようにする。そこで今回は、男女共習の授業を展開し、チーム一体となって活動に参加できるようにする。さらに運動が得意な生徒が苦手な生徒に教えたり励ましたりする心を育むとともに、苦手な生徒が得意な生徒とともに練習やゲームに取り組むことで所属感や達成感、できた喜びを味わうことができるようにしたい。

4 単元の評価規準（学習活動に即した評価規準）

| 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | 運動の技能 | 知識・理解 |
|--|---|---|--|
| ① バレーボールの特性やゲームに関心を持ち、仲間と協力して関わり合いながら◎積極的に取り組もうとしている。 ② チームにおける自分の役割を自覚して、互いの良さを認め合い、◎常に活動しようとしている。 | ① 設定されたルールの中で、発想豊かな練習方法や作戦を考え、◎主体的に工夫した取組を実践する。 | ① 基礎的・基本的な技能を身に付け、仲間と協力して◎積極的にゲームを行うことができる。 ② 自己やチームの能力に適した課題の練習やゲームを通して、個人技能や集団技能を◎意欲的に高めることができる。 | ① 球技の特性や技術の名称、関連して高まる体力や試合の行い方を◎十分に理解している。 |

◎は十分満足できる状況

5 指導と評価計画（8時間扱い） 本時は○印

| 段階 | 時間 | 学習のねらいと活動 | 評価計画 | | | |
|-----|----|---|---------|---------|---------|---------|
| | | | 関意態 | 思判 | 技能 | 知理 |
| はじめ | 1 | ○ 学習の見通しや目標を確認しよう。 ○ チームの仲間や自己の役割を確認しよう。 1 オリエンテーションを通して、単元の流れや学習の目標を確認する。 2 所属チームで話し合いを行い、係の分担を決め、自己の役割を確認する。 3 支柱の立て方やネットの張り方等を知る。 4 バレーボールの特性を知る。 | ① 観察 | | | |
| | | ○ ダブルセットバレーのルールを確認しよう。 ○ 試しのゲームに取り組もう。 1 ダブルセットバレーの方法やルールを確認する。 2 ダブルセットバレーのゲームに取り組む。 | | ② 観察 | | ① 観察 |
| なか | 3 | ○ ゲームに取り組みゲームを楽しむための課題を見付けよう。 ○ アンダーハンドパスについて知ろう。 1 ゲームに取り組む。 2 アンダーハンドパスの重要性に気付く。 3 アンダーハンドパスのポイントや練習方法を知り、練習に取り組む。 | | ① 観察 | | ① 学力 |
| | | ○ ゲームに取り組みゲームを楽しむための課題を見付けよう。 ○ オーバーハンドパスについて知ろう。 1 ゲームに取り組む。 2 オーバーハンドパスの重要性に気付く。 3 オーバーハンドパスのポイントや練習方法を知り、練習に取り組む。 | | | ① 観察 | |
| | 5 | ○ ゲームに取り組み、自己やチームの課題を見付けよう。 ○ 課題に適した練習方法をチームで考え、仲間と関わりながら取り組もう。 | | ① 学力 | ② 観察 | |
| | | 1 ゲームに取り組み、チームの課題や作戦を考える。 2 他チームとゲームを行う。 | | ① 学力 | ② 観察 | |
| まとめ | 8 | ○ 大会を行い、チームの仲間と協力して勝利を目指して積極的に取り組もう。 ○ ルールを守り、公正な態度で取り組もう。 | ① 観察 | | ① 観察 | |
| | | 1 全チーム総当りの大会を行う 2 単元を振り返り、学習内容の復習と今後の課題を確認する。 | ② 観察 | | ② 観察 | |

(学力＝学習カード)

6 本時の学習

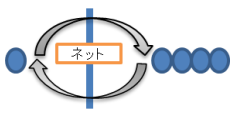
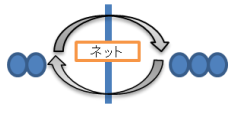
(1) 目標

- 球技の特性や技術の名称、関連して高まる体力や試合の行い方を十分に理解している。
(運動についての知識・理解)
- 設定されたルールの中で、発想豊かな練習方法や作戦を考え、主体的に工夫した取組を実践できるようにする。
(運動についての思考・判断)

(2) 準備・資料

- ・バドミントン用支柱 2本×4コート ・バドミントン用ネット 4枚 ・学習カード
- ・レクリエーションバレーボール (molten KV4IT) 8個 ・体育ファイル ・ホワイトボード

(3) 展開 (4 / 8時間)

| | 学習内容・活動 | 指導上の留意点・評価 (☆) |
|------------------|--|---|
| はじめ (8分) | 1 整列, あいさつ, 健康観察を行う。 ※準備が必要な場合は, 準備に取り組む。 2 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">○ゲームを楽しむために必要な技能を考えよう。</div> 3 準備運動を行う。 ・ チームに分かれて, ホームコートで準備運動に取り組む。 ・ 準備運動ができたグループからボールを受け取り, 円陣パスを行う。 | ・ 学習の規律を身に付けるために, 授業に取り組む姿勢を正し, 整列とあいさつがきちんとできるよう支援する。 ・ 前時の学習内容を振り返り, アンダーハンドパスの技能のポイントやゲームにおける必要性を確認する。 ・ ホワイトボードを使用して, 本時の課題の手がかりとなる発問を行う。 ・ チームごとにきちんと準備運動に取り組めるよう声をかけ, 怪我の予防を呼びかける。 ・ 準備運動ができたチームに, 教師からボールを渡す。 |
| なか ① (10分) | 4 ダブルセットバレーボールに取り組む。 ・ チーム内で紅白戦を行う。(6分) 5 話し合い活動に取り組む。 ・ レシーブ後に攻撃に繋がらない理由をチームで考える。 6 オーバーハンドパスの重要性を知る。 | ・ ダブルセットバレーボールのルールを確認しながら紅白戦に取り組むよう支援する。 ・ ゲームを楽しむためには何が必要か, 生徒が考えながらゲームに取り組めるよう発問を行う。 ☆ オーバーハンドパスが課題であることに気付いたか。 ・ ゲームにおけるオーバーハンドパスの重要性を説明する。 |
| なか ② (12分) | 7 オーバーハンドパスの練習に取り組む。 ・ チームで練習に取り組む。 ・ 技能を習得するための練習を行う。 ①  ②  | ・ 1チームを選択し, 練習方法について演示を行いながら説明する。 ・ 技能のポイントを次の3つに絞って説明する。 ① ボールの落下点に素早く入る。 ② 手や腕の形を意識し, 膝を柔らかくしてボールを上げる。 ③ 上げるボールは山なりのボールにし, なるべく高いボールが上げられるようにする。 ・ 巡視を行い, 各チームの活動が適切であるかどうか確認する。 ・ 生徒同士での教え合いが活発に行われるよう, 教える側へのかかわりを積極的に行う。 |
| まとめ (20分) | 8 ダブルセットバレーボールに取り組む。 ・ 他チームと練習試合を行う。 (4分×3試合) ※片付が必要な場合は, 片付に取り組む。 9 整理運動を行う。 10 本時のまとめを行い, 学習カードを記入する。 11 次時の学習内容を確認する。 | ・ 試合が円滑に進むように, 活動場所を確認したり移動時に声かけをしたりして支援する。 ・ ゲームの中で, オーバーハンドパスのポイントを意識して取り組めるように, 積極的にフィードバックを行う。 ・ ゲームが終わったら素早く集合できるよう声かけする。 ☆ 学習カードにオーバーハンドパスの技能のポイントを自分の言葉でまとめることができているか。 ・ 体調や怪我の有無を確認し, 健康状態を確認する。 |